

第二二章 鷺山の都市的変遷

鷺山は、岐阜市北西部の一角に位置しているが、市の中心市街地に近いという地理的条件に恵まれている。校下の丁度中心部には、標高六八呎の小高い山があり古くから親しまれているが、遠く戦国の世では天下取りの舞台ともなり、その歴史は多くのロマンを秘めている。今日では鷺山校下のシンボルとしてひろく愛され利用されており、貴重な緑地としても大きな役割を果たしている。

現在、鷺山校下では、岐阜市の大動脈である環状線を始めとする都市施設の整備が、着々と進められており、良好な住宅市街地としての発展が大いに期待されている。ここでは、鷺山の都市化への変遷及び現況について述べ、更に将来にも触れることとする。

第一節 これまでの鷺山

(一) 戦前

鷺山が岐阜市に合併したのは、長良村の昭和七年、島村の昭和九年に続く昭和一〇年である。そして、昭和一五年の

則武村の合併を最後に長良川・伊自良川・鳥羽川に囲まれた今日の岐阜市川北地区の良好な住宅地一円の地域が、岐阜市への編入を完了したのである。

合併時における鷺山の人口は、一、六三八人であったが、同時期に合併した三里村の二、六〇〇人を合わせて岐阜市の人口は、当時一二万八、七〇〇人を擁するところとなった。

析しも岐阜市は、市域南部への大規模な紡績工場の集中立地に代表されるように、近代工業都市へと大きな変革を遂げつつあった。

そして、松尾国松市政のもと、分流式下水道事業、土地区画整理事業、及び幹線道路整備事業等の所謂、都市基盤整備が着々と進行し、とりわけ下水道は画期的な事業として全国の注目を集めることとなり、人口急増による都市施設の拡充整備が図られた。又、昭和五年、丸物百貨店の誘致を契機に柳ヶ瀬の発展を図る一方、公会堂や薬学専門学校等の、各種公共・公益施設の充実など、社会資本の蓄積に積極的にとりくみ、岐阜市は東海地方でも有数の中枢都市としてその隆盛を誇っていた。そして鷺山もこのような近代都市化への影響を徐々にうけていくこととなる。隣の長良村においては、大正四年に旧長良橋がモダンな鉄橋で完成し、美濃電気鉄道と長良軽便鉄道が接続している。そして大正一四年には岐阜刑務所が美江寺町より現在地に移転しており、その後の黒野街道（現在、県道の岐阜⇨大野線）の整備と相俟って長良を経由しての鷺山と、岐阜市街地との結節が強まっていった。一方、島村においては、昭和三年に市立伝染病院が上加納から早田岩倉に移転し、則武から忠節に至る道路（現在、県道の神崎⇨岐阜線）の整備が行われている。このように鷺山は、隣接する東部の長良、及び南部の則武・島を通じて岐阜市中心部との結びつきを一層強めることとなるが、今日に見る鷺山の市街地形成に最も大きな影響を与えたのは、昭和一四年に完成した長良川・古川・古々川の

分派口締切工事であった。古来、鷺山は長良川の旧河道が通ると共に、長良川の扇状地及び後背湿地から構成されていた。

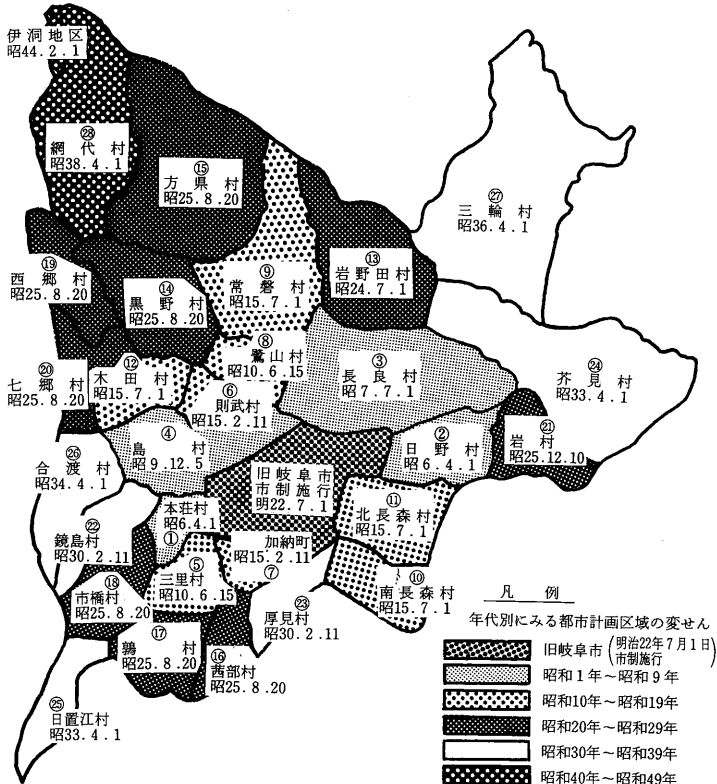
このため宿命的な洪水災害を被ってきたと言える。然し、長良川右岸の締切り工事は、長良川本川からの常習的な水害を防止したばかりでなく、戦後の廃川敷地の開発利用という測り知れない恩恵をもたらしたのである。

(二) 戦 後

昭和二三年、戦後の日本では初めての大型橋梁として、現在の忠節橋が完成した。

それと同時に名鉄市内線が忠節まで延長され、昭和二九年には、揖斐線と連絡することとなった。又その頃、則武新田

岐阜市都市計画区域の変せん図



から鷺山に至る道路も整備されている。更に現在の長良橋は、昭和三二年、装いも新たに全通するに至った。この間、戦火に見舞われた岐阜市街地の戦災復興土地区画整理事業も立派に完了し、今日の都市的基盤が築かれたのである。そして、昭和三〇年代からの高度経済成長により、長良川北部への市街地の発展が予想され、面的整備を目的とした土地区画整理事業の気運が高まってきた。川北地区でいち早く着手された島及び早田地区は、廃川となった長良川及び支派川の改修による広大な河川敷地であった。当該地区では都市基盤整備が図られ、小・中・高校の設置、更に住宅地開発事業等の実施により、急激に市街地形成が進められた。鷺山校下においても、鷺山第一地区土地区画整理事業が施行されている。又、廃川敷の一部は県営総合運動場として整備され、そして昭和四〇年には、第二〇回岐阜国体が開催されている。その前年、昭和三九年一〇月には、近代的な長大橋Ⅱ金華橋が架橋され、鷺山と岐阜市中心部との接近性が一段と強まった。この間、鷺山では廃川敷を利用して鷺山本通りが整備され、その沿道への公共・公益施設の立地を始め、公共・民間による住宅建設が相次いで進み、鷺山発展の基軸をなした。そして、昭和二〇年代、既に正木地内へ進出していた川島紡績に至る東西新市街地を形成するに至り、従来の鷺山の様相に大きな変化をもたらした。

第二節 鷺山の現況

(一) 人口及び産業

岐阜市の人口は、昭和五〇年以降その増加は微少にすぎないが、市域内での人口の分布構造は大きく変化している。即ち岐阜市を中心部・周辺部・郊外部に分けた場合、中心部の大巾減少、周辺部の停滞、郊外部の増加となっている。

鷺山も周辺部に位置しているが、昭和五〇年から同五五年には減少し、昭和五五年から同六〇年には微増したにすぎない。又、事業所統計からみた従業者人口の推移をみると、鷺山においては、第二次産業及び第三次産業とも増加している。

第二次産業のうち、工業は昭和五九年現在で、事業所数一〇二か所、従業者数七〇三人であるが、これらは、アパレル関連を始め、出版・印刷関連が大部分であり、小規模事業所が住宅と混在した形で分布している。更に第三次産業のうち、商業は、昭和六〇年に商店数一六六店・従業者数六一一人を数えるが、このうち二三店・一三八人が卸売業、一四三店・四七三人が小売業である。鷺山においては何れも減少傾向を示している。

又、校下には鷺山本通り沿いに、玉川町・白鷺町・古川町からなる商店街と、正木町・千草町・緑ヶ丘からなる商店街とがあるが、周辺に占める総体的な地位が弱まりつつある。

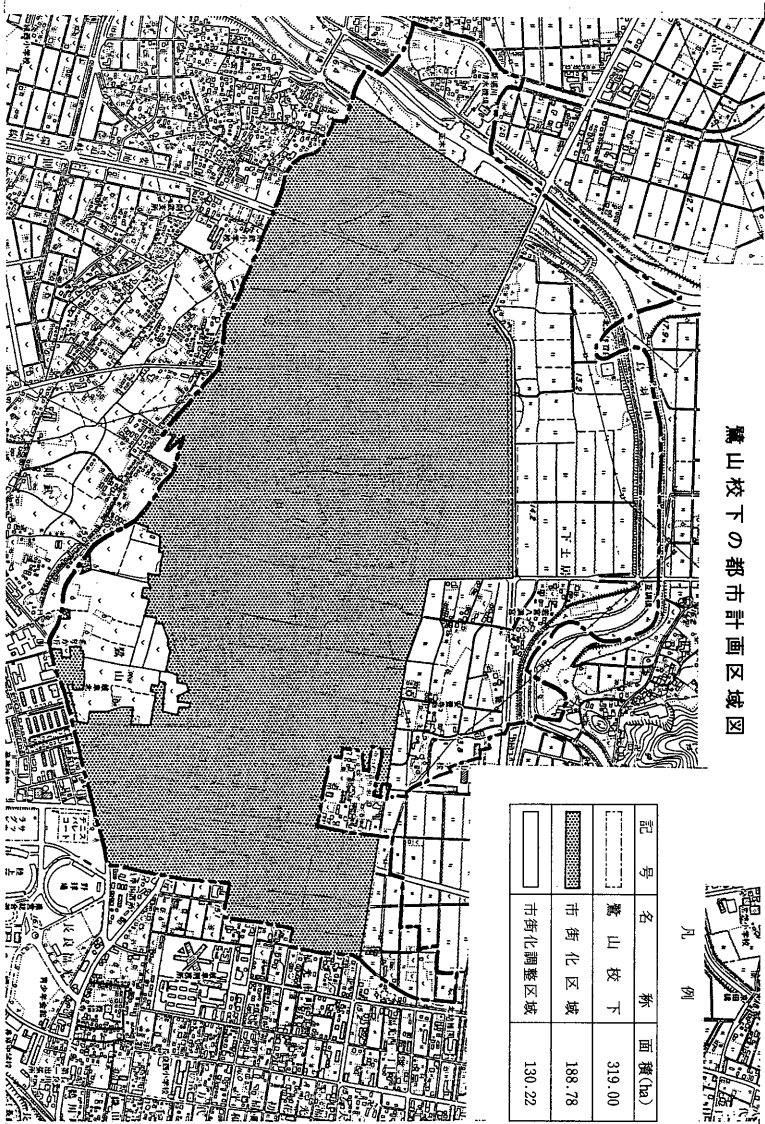
(二) 土地利用及び開発

鷺山の土地利用区分は地形的条件に大きく影響をうけている。旧河道の南側には扇状地が位置し、東側には優良な畑地が、又、西側の部分には正木の集落がある。旧河道の麿川敷には鷺山本通りに沿って市街地が形成されており、公共・公益施設及び商業施設が集積している。その北側の扇状地には鷺山を挟んで旧集落を含む住宅市街地があり、その中に畑地が散在している。現市街地と鳥羽川の間には後背湿地が位置し、その大半は水田としての土地利用がなされている。又、校下面積三一九ヘクタールのうち、一八八・七八ヘクタールが市街化区域となっており、用途指定は環状線以西が第一種住居専用地域、他は大部分が第二種住居専用地域となっている。更に都市計画道路の沿道には、住居地域と近隣商業地域が一部指定されている。前述したように人口は若干増加したにすぎないが、市街地面積は拡大しており、昭和

六〇年の人口集中地区(四〇人/秒)は、一四九ヘクタールとなっている。そこで開発状況をみると、鷺山には昭和六〇年現在一一六ヘクタールの農地があるが、過去昭和五六年から同六〇年の間に四六ヘクタールの農地転用がされている。又、建築確認の件数をみると、過去五年間に三八四件あり、このうち三五六件が住宅用途、二一件が商業用途、七件が工業用途となっており、住宅市街地としての発展が顕著にみられる。

(三) 都市基盤

岐阜市長良川以北では土地区画整理事業による面的整備が進んでいる。然し、鷺山校下では、昭和四五年から同六〇年にかけて僅か鷺山第一地区(南蝉ほか地内で面積一一・四ヘクタール)において土地区画整理事業が実施されたのみで、その他の地域では、既に都市基盤整備の水準が低い市街地が形成されている。然し、正木地区においては、現在土地区画整理事業施行の気運が高まり計画中である。又、都市計画道路としては、長良川系貫線・環状線・岐阜駅⇨城田寺線・本町⇨打越線・太平町⇨下西郷線の五路線が計画決定されている。このうち本町⇨打越線が整備済、長良川系貫線は鷺飼屋から正木迄の間が整備済、そして校下内における環状線は昭和六二年一二月完成し、これによって岐阜・白鳥線以西の西回りルートが全面開通した。更に岐阜駅⇨城田寺線は、市街地内で計画のほぼ半断面で供用されているが、太平町⇨下西郷線は全く未着手である。これが整備されれば、現在渋滞の著しい県道岐阜⇨大野線の代替機能を果すものも期待されている。又、公園緑地については、児童公園四か所、運動公園一か所、風致公園一か所の計六か所、面積二・八ヘクタールが都市公園として設置されている。これは校下住民一人当りの面積にすると、約二・九平方メートルとなり、岐阜市全体における市民一人当り面積五・三七平方メートルを大きく下回っている。然もこの六か所の都市公園のうち、都市計画公園として決定されているのは二か所の児童公園のみで、鷺山校下における公園緑地の整備水準が極めて低いことを示して



記号	名称	面積(ha)
	鷺山校下	319.00
	市街化区域	188.78
	市街化調整区域	130.22



いる。これは、とりも直さず土地区画整理事業等の面的整備が立遅れている所以でもある。

なお、公共下水道は、認可面積二二ヘクタール、整備面積一三四ヘクタールとなっており、校下全体としてはまだ可成り低い普及状況である。一方、内水排除は鷺山校下における大きな課題の

一つであるが、昭和五年の九・一二水害以降、伊自良川・鳥羽川については、河川激甚対策緊急事業が国（建設省）において採択され、関連支流川の改修やポンプ設置を含め鋭意事業が進められた。それにより、下土居排水路・鷺山川の改修が行われ、正木川にはポンプが設置されたが、なお今後の改修が残されている。

第三節 鷺山の将来

これまでの市街化の動向。岐阜市中心部への接近性、更に幹線道路や公共下水道等の都市施設整備の状況からみて、鷺山は早田の文教区に接していることもあって、良好な住宅地としての市街地形成が図られていくものと思われる。そして、市街地に点在する形で農地や緑地を残しながら、校下の全域において、都市的土地利用がなされるものと構想される。今後、鷺山の市街地整備が図られていく過程で魅力ある街づくりを進めるため、岐阜市が策定している開発整備構想では、つぎのような方策を挙げている。

(一) 生活中心地区の開発・整備

都市計画道路、長良・糸貫線と岐阜駅・城田寺線の交差部分を鷺山地区の生活中心地区に位置づけ、商業機能・コミュニティ機能の整備を図る。

(二) 近隣商店街の再整備

地区のサービス機能を高めるため既存の近隣商店街の近代化を図る。そして商店街の前面道路（都市計画道路、長良・糸貫線）は、人と車の共存を図った歩行者優先路として整備する。



都市計画道路の整備状況

(三) さが山の

緑地整備

・保全

鷺山は、歴史的に由緒ある山であり、然も市街地における貴重な緑地でもあり、すぐれた景観を演出していることから、鷺山小学校・白山神社・北野神社一帯を「さぎ山緑地」として、緑化の推進・保全を図る。

(四) 文教緑地の整備

鳥羽川沿いの北部体育館周辺を文教緑地とする。文教緑地は、児童から老人まで各世代すべてが教育を受けられる生涯教育の場として、北部体育館を中心に市民大学等各種施設の配置・充実を図る。

以上のような重点地区の拠点整備は、良好な住宅地としての性格づけに大きく寄与するものと考えられる。然し、全体として市街地をどのように形成していくのか、中・長期に亘る整備の方法については、未だ検討を要すべき課題が残されている。まずその第一点として治水計画との整合がある。

鷺山校下の北部地域は、地形的要因から湛水の常習地であった。激特事業を始めとする治水事業が進められたと雖も、現行の河川改修計画の限界、更には遊水機能としての湛水規模の膨大さ等を考えるとき、治水計画は単に施設整備にとどまらず、総合的なものでなくてはならず、今後都市整備を進めていく上で最優先されるべき課題である。何れにしても、鷺山の宿命とも言える治水問題は、容易に解消されるものではない。

第二点として、早期面的整備を図る必要がある。即ち、鷺山校下は、区画道路や、公園等の都市施設の整備水準が周辺校下に比して著しく立ち遅れている。現在、正木地区において、土地区画整理事業の計画があるが、他の市街化区域においても何等かの面的整備が、つよく望まれる。土地区画整理事業の実施や、地区計画制度による開発行為の誘導等により、市街地形成を図っていく必要があるが、最も望ましいのは土地区画整理事業の実施である。鷺山校下における市街化区域の拡大は極めて困難な情勢からして、現市街化区域内での面的整備が急務とされている。そして、それは遅延すればするほど、住みよい街づくりが一層困難となり、後世に悔いを残すこととなる。『神は農村をつくり、都市は人間がつくる』という諺があるが、都市づくりの主人公は、市民であることを改めて認識し、鷺山校下住民の意識高揚と事業化への積極性を、つよく求めたい。

へぎふ中部未来博覧会開催概要

一 開催目的

岐阜県は東西文化交流の接点として重要な役割を担って繁栄してきたが、二一世紀を間近に控えた現代社会においては更に人々の創意と技術革新の進展をみななければならず、本県においても、来るべき未来への情報発信基地として新しいスタートを切る必要があり、そのため県内のみならず日本全国に対して新しい時代の到来を宣言し、同時に二一世紀にむけて「明日の人類と文明」の創造の場とするため、メインテーマを「人がいる、人が語る、人がつくる」とし、またキャッチフレーズを「で愛、ふれ愛、ゆめみ愛」と掲げて、視野を世界に広げ数多くのパビリオン計画、また祭り気分を盛り上げる数々のイベント計画をもって開催するものである。

二 開催者

○主催 ぎふ中部未来博覧会協会

構成員、岐阜県・岐阜市ほか一五団体……資料(-)

○後援 外務省・文部省以下、政府関係各省庁・報道関係・経済団体等七〇団体

三 会期

昭和六三年七月八日～九月一八日(七三日間)九時三〇～一八時〇〇(ただし七/三〇～八/三一の土・日と八/一五・

第三節 鷺山の将来



ぎふ中部未来博88 (岐阜新聞提供)

一六は九時三〇―二二時〇〇）
四 会場及び面積

岐阜市長良川畔 岐阜県総合運動場 ・面積二三万平方メートル

五 博覧会内容

○パビリオン計画

全体として一八のパビリオン計画があるが、岐阜市も単独館の出版を計画しており、その内容は国際交流を中心としたもので、デイズニールランドをはじめ、世界各国の子供達を熱狂させた「中国杭州青少年曲技団」の妙技・秘技を公開するほか、杭州市（中国）フイレンツェ市（イタリヤ）カンピーナス市（ブラジル）の友好・姉妹都市の産業・文化等が紹介される予定である。

スカイマックス未来館・パノラマ中部館・岐阜市パビリオン・山東竜館・世界の古い館・チャイルドワールド・宇宙館・電力館・ガス館・農業バイオ回廊・中部産業館・岐阜産業館・ゆとりずむ館・健康館・一、二、J R東海リニア館・緑と木のむら・情報・エレクトロニクス館・みずとみちのワンダーランド、以上一八館
○サンサンデツキ（L 11300m W 11400m H 113・5m）

一階部分を信長ゆかりの自由市場「楽市・楽座」とし国際パザール（友好姉妹都市関係の物品販売と併せて各市町村の特産品・土産品の展示即売）が行われる。

○イベント&プレーゾーン

ぎふ中部未来博の最大のイベントである富田勲サウインド・クラウドは長良川と金華山をバックにレーザー光線とシンセサイザーを使った野外一大コンサート（七月二二日（金）の予定）であり、このほか主なイベントとして八八ミス・インターナショナル世界大会・八九ミス・インターナショナル・ミスワールド日本代表選出大会等々いくつかのイベントが企画されており、また最新ジェットコースター高速道路ラジコンコース、五〇m大観覧車・ロボットと仲よく遊ぶメカトロ・プレーゾーン等々が設けられる。

六 博覧会運営経費 四、八八〇、〇〇〇千円

七 入場予定人員 二五〇万人目標

入場料金 資料(1)

八 博覧会開催における岐阜市の役割と対応

主催者の一構成員として当博覧会に参画しており、そのため市職員四名を博覧会協会に派遣して協力体制を敷くとともに、市議会においても議員一七名から成る「ぎふ中部未来博及び岐阜市制一〇〇年記念事業推進特別委員会」を設置して、

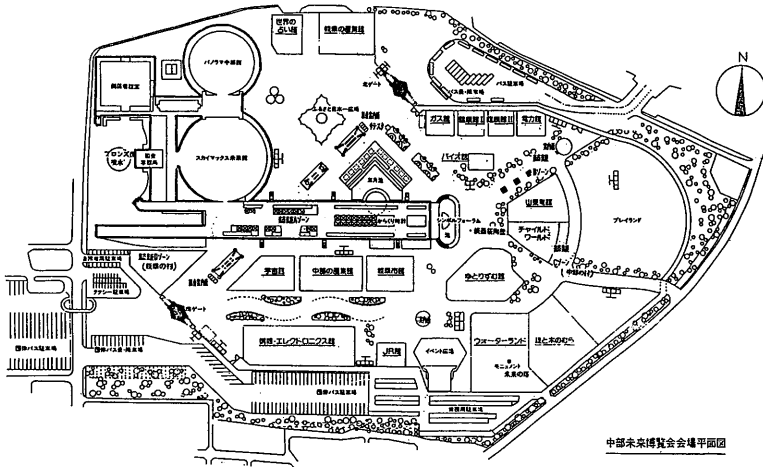
開催市としてのハード面・ソフト面とも積極的に博覧会成功に向けて取り組んでいるところである。

また、岐阜市単独でパビリオン一館を出展し中国青少年曲技団の妙技・秘技の上演、友好の旅ハイライト映画と題して本市の姉妹都市である杭州市、フイレンツエ市、カンピーナス市を紹介する映画を上演する予定である。

その他、会期中の救急面・消防面・衛生監視員の巡回・医療担当医師の派遣・ごみ処理等についても対応していかねばならない。

九 博覧会開催に伴う交通輸送計画・規制等

会場が既成市街地内であるため、現在でも市街地交通は、ほぼ飽和状態にあることから、交通渋滞緩和対策が最大の問題点であるので、資料四のような交通対策により会場周辺の規制、並びに岐阜市外周道路から各駐車場への誘導を図り、市街地への流入を阻止する方針である。



主催／ぎふ中部未来博覧会協会

資料(一)

〈構成員〉

岐阜 県

岐阜県中小企業団体中央会

岐阜 市

岐阜県農業協同組合中央会

岐阜県市長会

岐阜県林材業振興協議会

岐阜県町村長会

岐阜県観光連盟

中日新聞社

日本青年会議所岐阜ブロック協議会

岐阜新聞社

名古屋鉄道株式会社

日本放送協会

近畿日本鉄道株式会社

岐阜県商工会議所連合会

中部電力株式会社

岐阜県商工会連合会

後 援

外務省、文部省、厚生省、農林水産省、通商産業省、運輸省、郵政省、建設省、自治省、科学技術庁、環境庁、国土庁、工業技術院、東海旅客鉄道(株)、住宅・都市整備公団、水資源開発公団、日本道路公団、日本貿易振興会、宇宙開発事業団、国際観光振興会、(株)日本観光協会、全国知事会、全国市長会、全国町村会、富山県、石川県、福井県、長野県、静岡県、愛

知県、三重県、滋賀県、名古屋市、(株)経済団体連合会、日本商工会議所、中部経済連合会、富山県商工会議所連合会、石川県商工会議所連合会、福井県商工会議所連合会、長野県商工会議所連合会、静岡県商工会議所連合会、愛知県商工会議所連合会、三重県商工会議所連合会、滋賀県商工会議所連合会、名古屋商工会議所、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、中部経済新聞社、日本経済新聞社、サンケイ新聞社、日刊工業新聞社、日本工業新聞社、時事通信社、共同通信社、岐阜放送、中部日本放送、東海テレビ放送、名古屋テレビ放送、中京テレビ放送、東海ラジオ放送、テレビ愛知、関西電力(株)、日本電信電話(株)、日本たばこ産業(株)、日本交通公社、近畿日本ツーリスト(株)、名鉄観光サービス(株)、ブラジル大使館、イタリア大使館、フランス大使館、在日外国政府観光局代表協議会、駐日E.C委員会代表部、大韓民国大使館、オーストラリア大使館、カナダ大使館、ニュージーランド大使館、イギリス大使館、アメリカ大使館、西ドイツ大使館、フィリピン大使館、中国大使館

資料(二)

入場券販売のご案内

会期 昭和六三年七月八日～九月一日(七三日間)
会場 岐阜市長良川畔 岐阜県総合運動場

1 入場券の種類と料金

パスポート				普通入場券				入場券種類	
				入場券		前売			区分
幼児	小中学生	高校生 シルバ	大人	幼児	小中学生	高校生 シルバ	大人	一、六〇〇	
一、〇〇〇	二、五〇〇	三、五〇〇	五、〇〇〇	四〇〇	八〇〇	一、三〇〇	一、六〇〇		高校生・その他一八歳未満の者、シルバ一七〇歳以上の者
前売入場券に同じ				三歳以上の者		小学生・中学生			

この表の年齢区分は、昭和63年7月8日現在の年齢を適用します。

(1) 入場券購入者に対する景品

第三節 鷺山の将来

前売り入場券及びパスポートには「お楽しみ抽選券」

がついています。入場券購入者は、この「お楽しみ抽選券」を切り取り、官製はがきの裏面に貼って、ぎふ中部未来博覧会協会に郵送すれば、ソウルオリンピックほか、海外旅行(35本)を含む豪華な景品があります。

・ 第一次締切 昭和六三年一月一六日

・ 第二次締切 昭和六三年七月一六日

(2) パスポートは、博覧会会期中(昭和63年7月8日～9月18日)何回でも入場ができます。ただし、記名式(氏名・年齢・性別記入で写真貼付)になっており、本人に限り有効です。なお、写真は初回入場時まで貼っておいてください。

(3) 三歳未満の方は無料扱いとなります。

(4) 普通入場券は、一枚につき一人一回限り有効です。入場後、会場外へ出た場合は無効となります。

(5) 未来博88の開催が不能または中止となった場合に限り、当該入場券の発売時の価格で料金の払戻しをいたします。

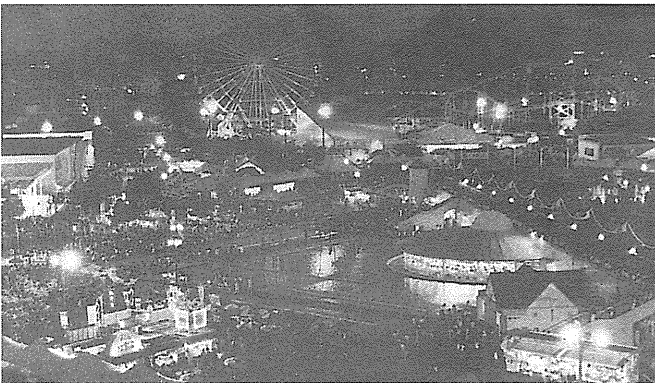
2 販売期間および販売価格の遵守

(1) 販売期間は、前売入場券・パスポートとも

昭和六二年七月一日から昭和六三年七月七日までです。



昭和62年12月21日主要地方道岐阜環状線正木一上土居区間
1,780メートル開通（平野豊氏提供）



中部未来博覧会々場夜景（岐阜新聞提供）

※ 当日入場券（特別割引入場券・団体入場券を含む）は、
原則として会期中、出札窓口にて発売いたします。

(2) 入場券の販売につきましては、販売価格を嚴重に守っ
てくださるようお願いいたします。